

第3回江別市学校教育基本計画策定懇話会 議事録(要点筆記)

- 1 日時 令和5年8月1日(火)午後3時00分から午後3時55分まで
- 2 場所 教育庁舎 大会議室
- 3 出席者 会長 横山 光
副会長 石橋 浩明
委員 赤川 和子
委員 荒瀬 博士
委員 佐藤 寿昭 (書面参加)
委員 橋本 一
委員 樋口 裕晃 (書面参加)
- 4 事務局 学校教育支援室長 堂前 敦
学校教育課長 稲田 征己
学校教育課参事(教育情報化担当) 浅木 義博
教育支援課長 清水 さおり
学校教育係長 中山 雄太
- 5 傍聴者 無し

	内 容
事務局 (中山係長)	<p>皆様こんにちは。お忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。学校教育係長の中山でございます。</p> <p>開会前に1点、連絡事項がございます。第2回懇話会でお知らせしましたとおり、7月1日付け人事異動により、事務局に変更がありました。新たに事務局になった職員2名から、ご挨拶させていただきます。</p> <p>【堂前室長・稲田課長 挨拶】</p> <p>以上で、開会前の連絡事項を終了します。</p>
事務局 (堂前室長)	<p>改めまして、本日は大変お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>教育委員会学校教育支援室長の堂前でございます。</p> <p>まず、本日の欠席者についてご報告します。本日、佐藤委員と樋口委員から所用により欠席する旨連絡を受けております。お二人からは書面により意見をご提出いただいておりますので、後程、事務局から報告いたします。</p> <p>なお、本日、傍聴者はございません。</p> <p>それでは、ただいまから第3回江別市学校教育基本計画策定懇話会を開催いたします。</p> <p>会長から、一言ご挨拶をいただいた後、議事進行をよろしく願いたします。</p>
横山会長	<p>皆様こんにちは。大変暑い中、またお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>前回の懇話会で出された意見について、事務局で計画素案に反映し、今回、新たに計画案が示されました。今回は、前回から内容を変更した部分を中心に議論していきたいので、改めて皆様からのご意見をいただきたいと思っております。</p> <p>暑い中なので、効率的な議事進行を心掛けますが、必要な議論はしっかりとしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に従い進めます。</p> <p>2 議題(1)第3期江別市学校教育基本計画(案)について、を議題いたします。</p>

まずは、前回からの修正点などについて、事務局から説明を受け、その後、意見交換を行いたいと思います。

なお、前回、今後のスケジュールとして説明があったとおり、本日の懇話会で意見交換を行った結果を反映した計画案をもって、9月にパブリックコメントを行います。

本日は、意見交換の最後に、ご意見の中から計画を修正すべき点、計画に反映すべき内容について、まとめを行いたいと思います。

まずは、忌憚のないご意見をいただき、その上でより良い計画にするため、計画に反映していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局
(中山係長)

はい。前回からの修正点等について一括でご説明いたします。

A4一枚物で「江別市学校教育基本計画(素案)修正箇所一覧」という資料と、計画案の冊子を併せてご覧ください。

修正箇所一覧については、前回の懇話会でいただいたご意見及び、庁内会議において出された意見について、事務局として修正した箇所をまとめたものです。順にご説明いたします。

資料の1～5は計画全体に関わる修正です。1の年号の表記の統一は、市教委が所管するほかの計画との整合を図ったものです。また、第2期に引き続き写真を掲載しています。

3については、主に「第4章 施策の展開」の文章全体を調整しました。

4については、「充実に」に続く表現として、市教委として取組を進めていくものについては、原則「充実に努めます」の表現に統一しました。

5の「予測できない未来」は、道の計画を参考に「予測が困難な未来」に統一して修正しています。

続いて、計画の6ページをお開きください。なお、計画の修正箇所は赤字で表現しています。

6ページの本文1～2行目に記載した、生産年齢人口の減少について、根拠を示すものとして、日本の総人口と年齢構成について、実績値と推測値のグラフを追加しました。

次に、8ページをご覧ください。

左のグラフは、江別市の人口を折れ線グラフ、児童生徒数を棒グラフで記載しています。右のグラフは、9ページの本文に記載がある、特別支援

学級の在籍児童生徒数について、第1期学校教育基本計画の計画年である、平成26年度以降を掲載しています。

次に、9ページには同様に、いじめの認知件数、不登校児童生徒数についてグラフで記載しています。なお、それぞれの状況や対応については、「第4章 施策の展開」に記載しております。

次に、7ページと22ページに主体的・対話的深い学びに(かっこ)アクティブラーニングという表現をしておりましたが、削除しております。

次に一覧の9について、20ページの内容をご指摘のとおり修正しています。また、20ページ下段に、「ICT機器とこれまでの教育実践をベストミックス」と記載しておりましたが、より分かりやすい表現にするため、ベストミックスを「効果的に組み合わせながら」に修正しています。

11については、22・23ページについてご指摘のとおり修正しています。

12については、26ページに、巡回相談と併せて就学相談についても、注釈による説明を追加しています。

13については、SNSなどに関わるトラブルについて、27ページの現状と課題に文章を追加し、33ページから削除しました。

14については、27ページ下段に元々記載のあった援助希求的態度の育成に関わる文章をより分かりやすい表現に修正しました。

15については、28ページの「キャリア教育の充実」に、27ページの内容との整合性を図りながら、本文を修正しています。また、下段にキャリア教育に関わる講演会の写真を追加し、ページ数を1ページ追加して、行間を読みやすくしています。

16の学校図書館司書については、26ページ「4-3読書活動の推進」の【主な取組】の○(しろまる)の1つ目の表現を修正し、学校の支援体制の充実に向けていきたいと考えております。

17については、30ページ4-5「いじめ防止の取組の充実」にいじめの認知件数が増加した理由を追記しました。

18については、4-6「不登校児童生徒への支援の充実」について、平成29年度以降の支援の方向性を追記しました。

また、【主な取組】の○(しろまる)の2つめに、今年度から、校内支援室へ、市教委から登校サポーターを派遣することとしており、その内容を記載しております。

20については、31ページの《現状と課題》の下から2行目に、冬場の体力向上につながる連携として、他市の取組そのものは記載できないものの、近隣自治体を含む様々な地域資源の活用を検討するため、「地域や」という文言を追加しました。

21については、33ページの《現状と課題》に各学校で実施している避難訓練の現状を追記しました。

22については、35ページの《現状と課題》について、現状の記載が不足していたため、本文を修正しています。

23については、自己肯定感が低い現状に対し、38ページ「8-2学校段階間の連携・接続の推進」の小中一貫教育の推進により、異学年交流が増えることによる自己肯定感の高揚や、その他、学習意欲の向上、中1ギャップの緩和など、期待される効果について追記しました。また、高等学校との連携については、今後取組を検討するため「学校段階間の連携・接続を推進します」と修正しています。

最後に、40ページの学校閉庁日については、全校で実施されておりますが、部活動休養日と併せて、より実効性を高めるため「完全実施」と表現を修正しています。

続きまして、本日、欠席された佐藤委員と樋口委員からご提出いただきました意見書の内容及び事務局としての考え方についてご説明いたします。

机上に配布しました「第3回学校教育基本計画策定懇話会 意見書【回答】」をご覧ください。

まず、1点目の樋口委員からのご意見につきましては、「基本的に問題無い様に思います。1つ気になる点として、出来るだけ数字で表す事で、問題や目標が明確になりますし、さらに時系列にする事で進捗状況や策の打ち手も変わるはずです。ですので、出来る限り取組み項目に対しての目標値と達成日(進捗目標値と最終目標値)『マイルストーン』があればさらに良いと思います。」というご意見をいただいております。

この点につきまして、学校教育課といたしましては、「進捗管理や施策立案のため、目標値と達成日(進捗目標値と最終目標値)『マイルストーン』を設定するべきという点については、ご指摘のとおりと考えております。

基本計画では、基本目標毎に計8つの成果指標を設定し、毎年度、指標の達成状況や施策推進の方向性などを検証した結果を定例教育委員会会議に報告のうえ、市教委HPでも公表しております。

また、基本計画で示された方向性に基づき、個別計画を定める際には、それぞれ数値目標を設定する等、進捗状況の把握に努めており、今後も数値的な根拠に基づく明確な目標設定と進捗管理に努めてまいります。」としております。

<p>事務局 (清水課長)</p>	<p>次に、佐藤委員から2点ご意見をいただいておりますので、教育支援課から清水課長からご説明いたします。</p> <p>はい。佐藤委員からのご意見の1点目について、通常学級で特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対する支援体制の充実について、学校現場からのご意見と、ご要望をいただいております。</p> <p>趣旨といたしましては、4行目の後段から、「子どもたちの特性を把握し一人一人の教育ニーズに対応した教育支援体制を構築していくためには、これからも研修機会を設け全教職員が高い専門性を身に付け、共通理解に立った組織的な指導・支援が不可欠です。今後も、研修機会の確保と特別支援教育支援員の増員を希望します。」というご意見でございます。</p> <p>この点につきまして、教育支援課といたしましては、「通常学級において特別な配慮を要する児童生徒数が増加傾向であり、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、本来持てる力が発揮できる支援体制の整備・充実を図ること及び教員への各種研修の実施と内容充実を図ることについて基本計画の基本施策に位置付けております。</p> <p>特別支援教育を充実させるための教職員の専門性向上等を図るべく、昨年度に引き続き、学校管理職・特別支援コーディネーター向け研修会を年3回実施し、巡回相談やスクールソーシャルワーカー等の支援、通級指導教室の制度や現状を周知するほか、「江別市特別支援教育ガイドブック」を11年ぶりに改訂し、各校に周知を行っております。</p> <p>今年度の教職員夏期セミナーでは、北海道立特別支援教育センターから講師を招き、障がい特性に応じた児童生徒への関わり方や、通級指導教室を含めた支援機関の活用について、研修を実施しました。</p> <p>また、通常学級に在籍する特別な配慮を要する児童生徒を支援する特別支援教育支援員につきましては、配置基準を基に、各校の現状を踏まえた適正な配置に努めており、今年度は、昨年度比で2名の増となる40名を配置しました。</p> <p>今後も、児童生徒の教育ニーズに対応した教育支援体制のより一層の充実を図るべく、体制整備に努めてまいります。」としております。</p> <p>次に、2点目につきましては、不登校児童生徒に関する内容で、「不登校の未然防止や早期対応に向けた取組については、不登校や不登校傾向にある児童生徒と保護者に寄り添い、関係機関と連携を進めながら、課題の解決や社会的自立に向けて多様な教育機会を確保していくこと示されています。</p>
-----------------------	---

	<p>実際に現場で不登校対応を進めていますと、子どもや保護者が様々な課題を抱えていること、解決の方法が学校だけでは見つけられないことに直面します。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、子育て支援課など相談する機関が複数あり、関係機関と学校が連携を取りながら対応策を講じています。今後も、連携を密にしてケースに応じた支援を進められるように一層の充実を図っていきたいと考えています。すぽっとケアの充実や登校サポーターの派遣は、特に期待が膨らみます。」というご意見でございます。</p> <p>この点につきまして、教育支援課といたしましては、「市内において、不登校又は不登校傾向にある児童生徒が年々増加しており、未然防止や早期解決のためには、教職員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の学校関係者及び福祉や医療などの関係機関が相互に連携し、支援を行うことが重要です。</p> <p>令和3年度に教職員やスクールソーシャルワーカー等と実施した不登校支援に関する意見交換の結果、市教委及び各学校が取り組むべき事項がまとまりました。この意見を踏まえ、市教委では、すぽっとケアの活動時間を拡充するための常設会場を確保し、また、各校における校内支援室設置の取組を支援するため、今年10月から登校サポーター(有償ボランティア)を学校に派遣することとしました。</p> <p>今後におきましても、学校や関係機関と連携し、不登校又は不登校傾向にある児童生徒一人ひとりに寄り添った支援の充実に努めてまいります。」としております。</p> <p>事務局 (中山係長)</p> <p>事務局からの説明は以上です。</p> <p>横山会長</p> <p>事務局から前回からの変更点などについて説明いただきました。委員の皆様から事務局への質問などがございましたら、ご発言をお願いします。</p> <p>赤川委員</p> <p>佐藤委員からの1つ目のご意見への回答について、11年ぶりに改訂された「江別市特別支援教育ガイドブック」について、どのような改定を行ったのか教えていただきたい。また、改定された主な内容や、市教委として特に伝えたいこと、学校で取組を進めてほしいことなどを学校へ周知した際には、全ての教職員にガイドブックを配布したのでしょうか。</p>
--	--

<p>事務局 (清水課長)</p>	<p>ガイドブックでは、特別支援教育の定義などを踏まえた理念的な内容や、通常学級に在籍する特別な配慮を要する児童生徒への支援のポイントなどについて、具体例を挙げながらまとめています。</p> <p>その上で、昨今の特別支援教育を取り巻く社会情勢の変化などを踏まえた内容に修正し、加えて、就学相談や巡回相談、通級指導教室など、江別市の取組として、先生方からのご質問が多い点について、より細かい説明を加えるなど、日常的な業務により役立つ内容に改訂しました。</p> <p>改訂については校長会を通じて内容を説明したうえで、全校にデータで通知しており、各学校でデータでの参照、または必要に応じて印刷して活用しています。</p>
<p>赤川委員</p>	<p>データで配布することは合理的でいいと思います。</p> <p>要望として、通常学級の担任をしていると、特別な配慮が必要と思われる子どもが1クラスに3～4名程度は在籍していると感じます。担任が支援の方向性に困ったときに参考になるよう、各学校でただ印刷して置いておくのではなく、全ての先生がいつでも見られて、研修等にも活用できるようにしてほしいと思います。市教委から、積極的な活用について呼びかけてもらえるといいと思います。</p>
<p>横山会長</p>	<p>他に、事務局への質問だけでなく、意見交換も行いたいと思いますので、感想でも結構ですので、ご意見をお聞かせください。</p>
<p>橋本委員</p>	<p>4点ほど、お伝えしたいと思います。</p> <p>まず、1点目は、30ページの「4－5いじめ防止の取組の充実」の3行目に「いじめの未然防止から早期発見、対応、解消まで」という記載がありますが、【主な取組】として記載されている5点は、早期発見、未然防止に関するものが中心で、対応、解消の部分の記載がもう少しあってもいいのではないかと思います。</p> <p>もし、加えられるのであれば、「北海道いじめの防止に向けた取組プラン」などを参考に、積極的認知や組織的対応、定期的な会議の開催についての項目があってもいいのではないかと思います。</p> <p>2点目は、36ページの「7－2学びの保障」の非常時という表現について、どのような状況を指すのかももう少し明確に記載してもいいのではないかと思います。新型コロナウイルスは5類に移行されましたが、他にも通学不能時、例えばインフルエンザによる学級閉鎖や大雪などで通学ができない時にもタブレット端末を活用した方がいいと思います。</p>

	<p>3点目は、38ページの「8-1家庭・地域との連携を図る教育活動の推進」について、本文の主語が「学校は」となっているため、【主な取組】の6点についても、学校の取組に関するものを上位にした方がいいのではないかと思います。例えば、「えべつ型コミュニティ・スクール」や「地域一体型学校の顔づくり事業」について、地域での活動が主なものであれば、記載順が下の方でもいいのではないかと思います。</p> <p>4点目は、40ページの「9-2指導力の向上を図る研修の充実」について、【主な取組】の○(しろまる)の2つ目、「学校職員の人事評価の実施」は、半期に1回程度、取組の評価をしているものだと思いますが、評価だけではなく、結果のフィードバックと併せて支援や指導を行った方が、指導力の向上につながるのではないかと思います。</p> <p>今回、事務局から説明があった修正点についてというより、前回説明を受けた内容に、改めて追加した方がいいのではということですね。修正されたものを見て改めて気づく部分ありますので、追加修正について4点ご意見をいただきました。</p> <p>ご意見の1点目のいじめに関する内容と、2点目の学びの保障、4点目の指導力向上については、後程、計画を修正するべきか、まとめて議論したいと思います。</p> <p>3点目の家庭・地域との連携については、【主な取組】のうえ2つが、近年の学校教育に関わる重点的な施策として記載されているものだと思います。学校関係者であれば、学校の重点的な取組であるとわかるものであり、ここについては、順位については入れ替え不要かと思いますが、事務局はいかがでしょうか。</p>
<p>横山会長</p>	<p>今回、事務局から説明があった修正点についてというより、前回説明を受けた内容に、改めて追加した方がいいのではということですね。修正されたものを見て改めて気づく部分ありますので、追加修正について4点ご意見をいただきました。</p> <p>ご意見の1点目のいじめに関する内容と、2点目の学びの保障、4点目の指導力向上については、後程、計画を修正するべきか、まとめて議論したいと思います。</p> <p>3点目の家庭・地域との連携については、【主な取組】のうえ2つが、近年の学校教育に関わる重点的な施策として記載されているものだと思います。学校関係者であれば、学校の重点的な取組であるとわかるものであり、ここについては、順位については入れ替え不要かと思いますが、事務局はいかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (中山係長)</p>	<p>学校が家庭・地域との連携を図る中で、一番大きな取組が「えべつ型コミュニティ・スクール」だと考えています。学校運営委員として、保護者や地域の方に学校の運営についての意見等をいただきながら連携を進めており、事務局としては記載の順位をこのとおりとしております。</p>
<p>横山会長</p>	<p>それでは、この点については、修正はしないこととしたいと思います。他に、ご意見等あればご発言いただきたい。荒瀬委員、いかがでしょうか。</p>

荒瀬委員	<p>前回の懇話会の意見等を踏まえて、事務局で多くの項目を速やかに修正していただきました。文言等の修正も適切であり、この内容で良いと思います。</p>
石橋副会長	<p>前回の懇話会では何点か指摘させていただいたが、適切に修正していただいたことに感謝しています。</p> <p>感想として、8ページから江別市の現状が書かれていますが、江別市は石狩管内の他市と比べても、学力など様々な点で成果が上がっていると感じます。市の施策としても教育に重点が置かれていると感じており、それが成果につながっている事は、学校や市教委の努力によるものであることを、少なくとも今回の計画改定に関わった委員の中では共通の認識として持っていたと思います。</p> <p>また、前回の懇話会では、江別市の子どもたちの自己肯定感が低いことが議題となりましたが、江別市に限ったことではなく、新型コロナウイルスの影響もあり、全道・全国的にも上向きだったものが、ここ数年で上がらなくなっています。「自己肯定感が低い」という言葉だけが独り歩きしてしまうと、学校や市教委の取組の成果が出ていないと捉えられかねませんが、決して江別市が施策を取らなかったということではないことも、懇話会委員の中では共通認識として押さえておくべきだと思います。</p>
横山会長	<p>石橋副会長のお話については、計画を修正するというものではなく、私たち懇話会委員がベースとして押さえておくべき内容だと思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは、皆様からいただいたご意見について、計画に反映する必要があるかどうかの議論をしたいと思います。</p> <p>まず、25～26ページの「特別支援教育の推進」について、佐藤委員の意見書の1つ目と、赤川委員からもご質問がありました。</p> <p>ガイドブックをより積極的に学校で活用していくため、26ページの3-1「特別支援教育の充実」の【主な取組】に追加することについて、事務局としてはいかがでしょうか。</p>
事務局 (中山係長)	<p>ガイドブックのより積極的な活用を推進していくため、【主な取組】に追加したいと思います。</p>
石橋副会長	<p>ガイドブックは改定により内容がとても詳しくなりました。別の話になりますが、生徒指導提要も12年ぶりに改訂され、今まではあまり記載されていなかった具体的な取組についても追加されたことで、内容もページ</p>

<p>横山会長</p>	<p>数もとても多くなりました。</p> <p>子どもを取り巻く問題が複雑化し、ニーズが多様化しているため、対応する先生方もマニュアルを手元に置いて対応する必要が出てきています。そのためにも、必要な人の手にきちんとわたるようにすることはとても大切だと思うので、計画に反映していいと思います。</p> <p>文章表現は事務局にお任せしますが、改定されたガイドブックの活用について、「3-1特別支援教育の充実」の【主な取組】に追加をしてもらいたいと思います。</p> <p>次に、30ページの「4-5いじめ防止の取組の充実」について、道の計画などを参考に、対応や解消についての内容を追加してはどうかという点について検討したいと思います。</p> <p>【主な取組】には、未然防止に関する内容の記載が多いが、本文には対応、解消までという表現もあるので、記載を変更した方がいいか、ご意見をいただきたいと思います。</p>
<p>石橋副会長</p>	<p>事務局への質問になりますが、今回、体系図を修正する際に、基本施策4-5を「いじめ防止」とした意図をお聞きしたいと思います。橋本委員のご意見を反映するのならば、基本施策との整合性から検討が必要になると思います。</p>
<p>事務局 (中山係長)</p>	<p>前回の懇話会でも議論がありましたが、いじめは積極的に認知するべきものと認識が変わっており、いじめアンケートを市独自に実施するなど、早期発見に努めています。</p> <p>その上で、いじめはどの子にも、どの学校にも起こりうることであり、より根本的ないじめ問題克服には、日頃からいじめを生まない学校風土を作るなどが必要であると考えております。</p> <p>対応や解消に係る部分については、個別に通知等を行っていますが、基本方針に示す方向性としては、いじめ防止に重点を置いて記載したものです。</p>
<p>横山会長</p>	<p>より積極的認知に取り組んでいることを明確にするため、例えば、【主な取組】に記載されている「いじめアンケートの実施」に、実施の目的などを追記することはできないでしょうか。</p>
<p>事務局 (中山係長)</p>	<p>横山会長からご提案いただいた内容は、本文の1~2行目に記載しており、主な取組の方にも目的などを追記すると、基本方針として取組の縛りがきつくなってしまうのか、少し懸念があります。</p>

<p>事務局 (清水課長)</p>	<p>「北海道いじめ防止基本方針」が令和5年3月に改正されており、江別市の基本方針も現在、改定作業を行っています。新しい基本方針と整合性を取りながら、本文の方をもう少し修正できないか検討したいと思いません。</p>
<p>横山会長</p>	<p>少し難しい内容かもしれませんが、事務局で検討をいただきたいと思いません。こちらについても、文章表現については事務局に一任いたします。</p>
	<p>次に、36ページの「7-2学びの保障」について、非常時とはどのような状態を指すのか、もう少し具体的に入れてはどうかというご意見について、計画に反映する必要があるかどうかの議論をしたいと思いません。</p>
<p>事務局 (浅木参事)</p>	<p>【主な取組】の○(しろまる)の1つ目に「感染症や災害発生時」という説明を入れていますが、本文の方で明確に定義する方が読みやすくなると思うので、表現を修正したいと思いません。</p>
<p>横山会長</p>	<p>本文と【主な取組】の記載内容が重複しないように、事務局で文章表現についてご検討いただきたいと思いません。</p>
	<p>最後に、40ページの「9-2指導力の向上を図る研修の充実」の、【主な取組】の○(しろまる)の2つ目にある「学校職員の人事評価の実施」について、指導力向上を図るため、評価だけではなくフィードバックなどを通じて、教職員の研修の充実につなげるような表現ができないか、議論をしたいと思いません。</p>
<p>石橋副会長</p>	<p>まず、第2期の計画では「教職員評価の実施」という表現だったものが、今回の計画でより正しい表現に修正されています。その上で、今年度から教員免許更新制が廃止となり、新たな研修制度が始まりました。新たな研修制度のなかで、人事評価面談の機会を活用して、研修の受講勧奨を行うこととなっています。そのため、橋本委員からのご指摘の点については、現在の表現に含まれていると考えていいのではないかと思います。</p>
<p>横山会長</p>	<p>それでは、この点については、修正はしないこととしたいと思います。</p> <p>以上で、計画に反映すべきか検討を要する内容についての議論はすべて終了したいと思いませんが、よろしいでしょうか。</p>

各委員	異議なし
横山会長	それでは、事務局から本日の内容のまとめと、今後の流れについて説明願います。
事務局 (中山係長)	<p>はい。ではまず、本日いただいたご意見の中から、計画に反映させるべき内容について、確認させていただきます。3点ございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1点目:26ページ「3-1特別支援教育の充実」 江別市特別支援教育ガイドブックの活用について追記 ・2点目:30ページ「4-5いじめ防止の取組の充実」 いじめ防止基本方針の内容を踏まえた本文の修正 ・3点目:36ページ「7-2学びの保障」 非常時の定義の明確化 <p>以上のご意見につきまして、改めて事務局で検討し、計画案を修正いたします。</p> <p>次に、今後の流れについてですが、今月下旬に開催される定例教育委員会へ、計画案の内容及びパブリックコメントの実施について報告し、9月にパブリックコメントを実施する予定です。委員の皆さまには、パブリックコメントで公表する計画案を後日送付させていただきます。</p> <p>また、次回、第4回の策定懇話会はパブリックコメント終了後の11月頃を予定しており、パブリックコメントで出された意見等についてご報告いたします。開催日程については、別途ご連絡いたします。</p> <p>以上です。</p>
横山会長	ただいまの事務局からの説明に、質問や確認したいことがあれば、ご発言願います。
各委員	(なし)
横山会長	3 その他について、委員の皆様からございますか。
各委員	(なし)
横山会長	事務局からございますか。

事務局 (中山係長)	(なし)
横山会長	それでは、以上で第3回策定懇話会を閉会いたします。 本日はありがとうございました。